

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 442番
- *交読文 17番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 107番
- 礼拝のための祈り 川合ゆきえ姉妹
- 賛美 490番
- メッセージ どの土地となるか(マタイ 13:1-23)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 521番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- 病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- 兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- 主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- 終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

肉に従う者は肉的なことをもつばら考えますが、御霊に従う者は御霊に属することをひたすら考えます。肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。肉の思いは神に対して反抗するものだからです。それは神の律法に服従しません。いや、服従できないのです。もし神の御霊が_____のうちに住んでおられるなら、_____は肉の中にはなく、御霊の中にいるのです。もしキリストが_____のうちに住んでおられるなら、からだは罪のゆえに死んでいても、霊が、義のゆえに生きています。もしイエスを死者の中からよみがえらせた方の御霊が、_____のうちに住んでおられるなら、キリスト・イエスを死者の中からよみがえらせた方は、_____のうちに住んでおられる御霊によって、_____の死ぬべきからだをも生かしてくださるのです。(ローマ 8:5-11)

群衆がイエス様の所に大勢押しかけたので、イエス様は舟に乗り、岸にいる群衆に向かって口を開かれた。群衆は、世の隠された秘密を解き明かすような話や、心打つ感動物語を期待していたかもしれないが、イエス様の口から出たのは、あまりに短く平坦でオチも無い話、種蒔きの話であった。(マタイ 13:3-9) 多くの人が、イエス様の話は大した事ないな、噂ほどではなかったな、と思った事だろう。ところが、この種蒔きのたとえは、多くの預言者や義人達が聞きたいと切に願って来た、天の御国の奥義だったのである。多くの群衆はそのたとえの真意を知る事無く帰っていったが、弟子たちはイエス様の所に来て、聞いたので、そのたとえの真意を教えていただく事ができた。 天の御国の奥義を知る事がゆるされている人とは、弟子達のようにイエス様の所に「来て」「聞く」人である。イエス様に聞かぬは、永遠の恥。 イエス様に求める姿勢、探す姿勢、叩く姿勢を持っている人は、さらに与えられて豊かになり、それらを持たない人は、持っているものまでも取り上げられてしまう。

「だから、種を蒔く人のたとえを聞きなさい。だれでも御国の言葉を聞いて悟らなければ、悪い者が来て、心の中に蒔かれたものを奪い取る。道端に蒔かれたものとは、こういう人である。」(マタイ 13:18-19) イエス様が語られた「種」は御言葉で、それが蒔かれる土地は人をあらし、そして人には「四タイプ」ある。 **第一のタイプの人**は、「道端」の人。道端は色々な人や獣が来ては過ぎ去り、地面は踏み固められている。こういう人は、世の人やテレビ、ラジオ、ネットなど、世の情報の往来を見聞きしては思い巡らし、御国の言葉さえも膨大な情報の一つとして、心に植える事なく、聞いてもすぐにサタンがそれを持ち去ってしまう。テレビやラジオ、インターネットなどの内容は良く覚えていても、語られた御言葉はさっぱり覚えていない、となると、道端の人となっている自分に気づくべきである。アブラハムが礼拝の捧げ物に群がるハゲタカを追い払ったように、自分という土地は、余計な者の往来を規制し、つとめて余計な情報は入れず、霊的に必要な御言葉を受け入れる土壌を耕すべきである。 **第二のタイプの人**は、「岩地」の人。表面上は土があるので、種がよく育つだろうと思われがちで、事実、御言葉を聞くたびに喜んで受け入れるが、内面は固い岩がごろごろしていて、根を深く張る事が出来ない。表面上は敬虔そうでも内面は頑なで、御言葉が張るのを頑として受け入れず、自分の心を貫く人である。例えば、「互いに愛し合いなさい」という御言葉を喜んで聞きはしても、「あの人だけは絶対イヤ」と頑なに自分を貫く時、自分の中に存在する岩を取り扱う必要がある。努めて自らを清く保ち、内側から主に喜ばれないものを取り除こうとする人に、主は石の心を取り除き、肉の心を与えて下さるが、忌み嫌われるべき心を自分の心として歩む者には、自分の行ないを自分の頭上に返されてしまう。(エゼキエル 11:18-21) **第三のタイプの人**は、「茨の地」の人。道端のような往来は無く、土の下に岩も無いが、「世の煩い」や「富の誘惑」といった「茨」を自分の中から生えさせ、それによって、御言葉のいのちを窒息させてしまうのだ。御言葉を読んでも「将来どうなるだろう」「住宅ローンどうしよう」などと言った思い煩いで御言葉を上塗りする傾向のある人は、「茨」に養分を与えて育っていると知るべきである。思い煩いは茨の冠となってイエス様の頭を刺し、あくまで茨を生えさせ続けるとやがて呪われ、ついには焼かれてしまう。(ヘブル 6:7-8) 苦い根を出させないコツは、よく監督する事(ヘブル 12:15)。思いをよく監督し、煩いを膨らませて茨に養分をやる事を止め、御言葉にこそ思い巡らし、御言葉のいのちにこそ水と養分を与え、育てるべきである。 **第四のタイプの人**は、「良い地」の人。その人は、世の情報の往来は規制され、頑なな心の岩も取り除かれ、茨もしっかり監督して規制され、主に耕された人であり、御言葉のために自らを耕す人である。そういう人は、御言葉を喜んで受け入れ、芽を出し葉を茂らせ、花を咲かせ、豊かに命の実りをもたらす。イサクは百倍の収穫を実らせしたが、それは彼がアブラハムによって主に自らを捧げ、ペリシテ人に井戸を奪われてもそれを与える、自らをよく耕す人であったからだ。彼はアブラハムに捧げられ、「鍬(くわ)」を当てられる経験を通して、また、ペリシテ人という鍬をも通して、よく耕されたが故に、豊かな実りを見せたのだ。

多くの実を結ぶため、皆さんの土地からは悪しき者達の往来は規制し、内面にある頑なな岩は取り除き、よく監督して「思い煩い」という茨に栄養をやる事なく、主から耕される事をいとわず、よく耕された土地として、多くのいのちの実を結ぶ皆さんでありますように！ イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語中国語通訳有) 10:30
 食事/フェローシップ 12:00～
 2部礼拝 14:00
 聖書の学び会(箴言) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
 火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
 火・木 夜の祈祷会 21:00～

水曜集会

1部 13:00～
 2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
 JR・関内駅より徒歩10分
 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
 1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
 毎日携帯にお届けします。
 左記コードを読み込み、
 空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト